

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月13日

上場会社名 大日本印刷株式会社
 コード番号 7912 URL <http://www.dnp.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

上場取引所 東大

(氏名) 北島 義俊
 (氏名) 神戸 好夫
 配当支払開始予定日

TEL 03-5225-8220
 平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	771,276	△4.1	25,610	△35.9	24,932	△40.0	7,924	△52.2
21年3月期第2四半期	804,322	—	39,948	—	41,569	—	16,567	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	12.30	—
21年3月期第2四半期	25.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	1,564,918	950,071	58.2	1,413.14
21年3月期	1,536,556	940,085	58.5	1,393.91

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 910,535百万円 21年3月期 898,174百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	18.00	—	14.00	32.00
22年3月期	—	16.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,600,000	1.0	40,000	△13.4	40,000	△15.6	20,000	—	31.04

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 700,480,693株 21年3月期 700,480,693株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 56,147,424株 21年3月期 56,123,617株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 644,343,707株 21年3月期第2四半期 649,303,540株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想につきましては、平成21年5月15日に公表した内容を修正いたしました。詳細は、平成21年11月13日付「平成22年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。当社の事業を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、米国の金融危機に端を発した世界的な景気後退の影響を受け、企業収益、設備投資、雇用情勢の停滞が続くなど、依然として厳しい状況にありました。

印刷業界においても、需要の低迷に加え、競争激化による受注単価の下落により、経営環境は一層厳しさを増しました。

このような状況のなか、DNPグループは、事業ビジョンである「P&Iソリューション」に基づき、積極的な営業活動を展開して、顧客ニーズに対応した製品、サービス及びソリューションを提供するとともに、品質、コスト、納期など、あらゆる面で強い体質を持った生産体制の確立を目指す「モノづくり21活動」にグループを挙げて取り組み、業績の確保に努めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は7,712億円（前年同期比4.1%減）、連結営業利益は256億円（前年同期比35.9%減）、連結経常利益は249億円（前年同期比40.0%減）、連結四半期純利益は79億円（前年同期比52.2%減）となりました。

部門別の状況については、以下のとおりです。

【印刷事業】

・情報コミュニケーション部門

出版印刷関連は、長引く出版市場の低迷により、書籍、雑誌とも減少しました。また、求人情報や住宅情報関連のフリーペーパーも低調でした。

商業印刷関連は、企業業績悪化の影響を受け、チラシ、パンフレット、POPなどの広告宣伝物が減少し、前年を下回りました。

ビジネスフォーム関連は、パーソナルメールなどのデータ入力から印刷・発送までの業務を行うIP S（インフォメーション・プロセッシング・サービス）やICカードが増加したものの、コンピュータ用連続帳票が減少し、前年を下回りました。

なお、M&Aなどによって拡大した教育・出版流通事業が、当部門の売上増加に寄与しました。

その結果、部門全体の売上高は、3,752億円（前年同期比12.7%増）、営業利益は、106億円（前年同期比31.9%減）となりました。

・生活・産業部門

包装関連は、軟包装材、紙器が減少したほか、ペットボトル用無菌充填システムの販売も減少し、前年を下回りました。

住空間マテリアル関連は、DNP独自のEB（Electron Beam）コーティング技術を活かした環境配慮製品などの拡販に努めましたが、長引く住宅需要低迷の影響により全体に低調でした。

産業資材関連は、薄型ディスプレイ向け反射防止フィルムは増加しましたが、フォトプリンター用のインクリボンや受像紙、太陽電池用バックシートなどが減少し、前年を下回りました。

その結果、部門全体の売上高は、2,597億円（前年同期比10.1%減）、営業利益は、188億円（前年同期比24.2%増）となりました。

・エレクトロニクス部門

液晶カラーフィルターは、液晶パネルの需要回復により受注数量は増加したものの、価格面では依然厳しい状況にあり、前年を下回りました。

このほか、半導体関連については市場の低迷が続き、フォトマスクが減少したほか、ハードディスク用サスペンションなどのエッチング製品、高密度ビルドアップ配線板も減少しました。

その結果、部門全体の売上高は、1,133億円(前年同期比27.4%減)、営業利益は、11億円(前年同期比91.3%減)となりました。

【清涼飲料事業】

・清涼飲料部門

個人消費が低調に推移し、販売競争がさらに激化する厳しい市場環境のなかで、主力商品である「コカ・コーラ ゼロ」の販促キャンペーンを展開したほか、国内最軽量ボトル「e c oるボトル しぼる」を採用した新ウォーターブランド「い・ろ・は・す」を発売するなど、販売の拡大に努めました。その結果、炭酸飲料は増加しましたが、ティー飲料、コーヒー飲料が減少しました。

部門全体の売上高は、297億円(前年同期比12.2%減)、営業損失は、8億円(前年同期は29百万円の営業利益)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産については、総資産は、投資有価証券、現金及び預金の増加等により、前連結会計年度末に比べ283億円増加し、1兆5,649億円となりました。

負債は、社債の増加等により、前連結会計年度末に比べ183億円増加し、6,148億円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ99億円増加し、9,500億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末より0.3ポイント減少し、58.2%となりました。

当第2四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フローについては、営業活動によって得られた資金は、税金等調整前四半期純利益206億円、減価償却費434億円などにより640億円となりました。投資活動に使用された資金は、有形固定資産の取得599億円などにより586億円となり、また、財務活動によって得られた資金は、社債の発行による収入500億円、短期借入金の減少239億円、配当金の支払92億円などにより130億円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は1,373億円と前連結会計年度末に比べ201億円の増加となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成21年5月15日に公表した内容を修正いたしました。詳細は、平成21年11月13日付「平成22年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

（棚卸資産の評価方法）

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

（固定資産の減価償却費の算定方法）

定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	140,691	123,569
受取手形及び売掛金	413,847	405,876
商品及び製品	68,137	73,372
仕掛品	32,042	29,707
原材料及び貯蔵品	18,182	17,566
繰延税金資産	10,688	10,278
その他	13,371	21,057
貸倒引当金	△5,357	△5,280
流動資産合計	691,604	676,149
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	211,765	199,265
機械装置及び運搬具(純額)	175,329	183,890
土地	133,029	132,888
建設仮勘定	57,515	57,756
その他(純額)	40,075	31,103
有形固定資産合計	617,715	604,904
無形固定資産		
のれん	22,906	24,099
ソフトウェア	19,161	20,053
その他	4,387	4,696
無形固定資産合計	46,455	48,850
投資その他の資産		
投資有価証券	132,151	113,448
長期貸付金	1,626	3,015
繰延税金資産	42,941	50,015
その他	44,788	51,923
貸倒引当金	△14,154	△12,484
投資その他の資産合計	207,352	205,917
固定資産合計	871,523	859,672
繰延資産		
開業費	1,790	735
繰延資産合計	1,790	735
資産合計	1,564,918	1,536,556

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	286,281	290,871
短期借入金	36,135	59,875
1年内返済予定の長期借入金	3,139	2,898
未払法人税等	10,240	7,891
賞与引当金	16,213	16,186
その他	78,787	92,075
流動負債合計	430,796	469,799
固定負債		
社債	101,000	51,000
長期借入金	9,069	10,490
退職給付引当金	42,077	41,451
その他	31,903	23,729
固定負債合計	184,050	126,671
負債合計	614,847	596,471
純資産の部		
株主資本		
資本金	114,464	114,464
資本剰余金	144,898	144,898
利益剰余金	750,872	751,869
自己株式	△93,908	△93,884
株主資本合計	916,327	917,348
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,097	△3,882
繰延ヘッジ損益	16	△4
為替換算調整勘定	△11,905	△15,285
評価・換算差額等合計	△5,791	△19,173
少数株主持分	39,535	41,910
純資産合計	950,071	940,085
負債純資産合計	1,564,918	1,536,556

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	804,322	771,276
売上原価	660,625	629,830
売上総利益	143,697	141,446
販売費及び一般管理費	103,748	115,836
営業利益	39,948	25,610
営業外収益		
受取利息	748	395
受取配当金	2,044	1,884
その他	3,542	2,906
営業外収益合計	6,334	5,185
営業外費用		
支払利息	759	1,057
持分法による投資損失	1,129	210
貸倒引当金繰入額	—	1,509
その他	2,824	3,084
営業外費用合計	4,713	5,863
経常利益	41,569	24,932
特別利益		
固定資産売却益	77	119
投資有価証券売却益	363	16
その他	121	211
特別利益合計	561	347
特別損失		
固定資産除売却損	2,872	2,782
投資有価証券評価損	3,099	944
その他	2,380	909
特別損失合計	8,351	4,636
税金等調整前四半期純利益	33,779	20,644
法人税、住民税及び事業税	16,074	10,107
法人税等調整額	605	2,490
法人税等合計	16,679	12,598
少数株主利益	532	121
四半期純利益	16,567	7,924

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	33,779	20,644
減価償却費	50,995	43,421
貸倒引当金の増減額(△は減少)	606	1,636
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,614	1,019
持分法による投資損益(△は益)	1,129	210
のれん償却額	1,838	2,612
受取利息及び受取配当金	△2,792	△2,279
支払利息	759	1,057
投資有価証券売却損益(△は益)	△362	△11
投資有価証券評価損益(△は益)	3,099	944
固定資産除売却損益(△は益)	2,795	2,662
売上債権の増減額(△は増加)	12,921	△6,529
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,481	2,360
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,516	△4,547
その他	5,383	△1,450
小計	89,539	61,752
法人税等の支払額	△16,957	2,312
営業活動によるキャッシュ・フロー	72,582	64,065
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	—	5,099
有価証券の売却による収入	10,997	—
有形固定資産の取得による支出	△52,510	△59,979
有形固定資産の売却による収入	2,107	1,261
投資有価証券の取得による支出	△6,235	△8,613
投資有価証券の売却による収入	1,269	2,625
子会社株式の取得による支出	△1,826	△3,711
営業譲受による支出	△6,603	△49
利息及び配当金の受取額	2,810	2,294
その他	△5,126	2,402
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55,117	△58,671
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	8,769	△23,918
長期借入れによる収入	1,220	800
長期借入金の返済による支出	△1,762	△1,809
社債の発行による収入	—	50,000
社債の償還による支出	△100	—
自己株式の取得による支出	△27,376	△34
利息の支払額	△752	△917
配当金の支払額	△13,223	△9,041
少数株主への配当金の支払額	△267	△235
その他	△318	△1,840
財務活動によるキャッシュ・フロー	△33,812	13,001
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,576	1,699
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△17,924	20,095
現金及び現金同等物の期首残高	130,695	117,200
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	97
現金及び現金同等物の四半期末残高	112,770	137,393

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	情報コミュニケーション	生活・産業	エレクトロニクス	清涼飲料	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	328,965	285,368	156,153	33,834	804,322	—	804,322
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	3,882	3,610	1	20	7,513	△7,513	—
計	332,847	288,978	156,155	33,855	811,836	△7,513	804,322
営業利益	15,582	15,195	13,370	29	44,177	△4,229	39,948

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	情報コミュニケーション	生活・産業	エレクトロニクス	清涼飲料	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	371,627	256,613	113,317	29,717	771,276	—	771,276
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	3,617	3,169	10	19	6,817	△6,817	—
計	375,244	259,783	113,328	29,737	778,094	△6,817	771,276
営業利益又は営業損失(△)	10,612	18,874	1,159	△839	29,806	△4,196	25,610

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

以上